

応用生態工学会 第24回大会開催案内

2021年（令和3年）9月21日（火）～9月25日（土）
第24回総会・研究発表会・自由集会・公開シンポジウム・エクスカージョン

会場開催（対面形式）とZOOMを用いたオンライン配信（オンライン形式）とを組み合わせたハイブリッド形式で開催します。なお、ポスター発表、懇親会は行いません。感染症対策の観点から、両形式に発表件数・参加人数に上限があります。形式の詳細等は発表・参加申し込み受付に合わせて [札幌大会ホームページ](https://confit.atlas.jp/eces2021)（<https://confit.atlas.jp/eces2021>）に順次アップデートします。

〔新型コロナウイルス感染症の観点からの注意点〕

- ハイブリッド形式を現時点で予定していますが、今後、感染症拡大が懸念される場合は会場開催を中止し完全オンライン開催とします。この判断は、大会参加申し込み開始予定（8月上旬）以前の7月下旬を予定しています。
- 今後、ワクチン接種が進み感染症の発生が沈静化した場合、大会期間中（観光に適したシーズンの祝日週）に来道者数が急激に増加する可能性があります。この場合、宿泊施設数が不足し宿泊代が高騰する可能性があります。このため、発表の有無に関わらず大会参加の意思がある場合、キャンセル料等に気を付けていただき、できるだけ早めの宿泊地の確保をお勧めします。

1.全体スケジュール

【大会期間】令和3年9月21日（火）～令和3年9月25日（土）

日程 2021年	開催内容	開催会場
9月21日（火）	午前：総会 午後：公開シンポジウム	札幌市民交流プラザ 3階 クリエイティブスタジオ
9月22日（水）	午前：会場準備 午後：自由集会	札幌市教育文化会館 3階・4階
9月23日（木）祝	午前：自由集会 午後：研究発表会	
9月24日（金）	終日：研究発表会	
9月25日（土）	エクスカージョン	札幌市内：豊平川散策

2.大会概要

〔会 場〕

① 札幌市民交流プラザ

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西1丁目

<https://www.sapporo-community-plaza.jp/>

※9月21日：総会・公開シンポジウム

② 札幌市教育文化会館

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西13丁目

<https://www.kyobun.org/>

※9月22日～9月24日：研究発表会・自由集会・企業展示

〔大会規模〕

(1) 研究発表会・自由集会

①会場参加 定員 200名（募集 100名、発表者・関係者等 100名）（会場席数 1/2）

②オンライン参加 600名まで可（zoom ミーティング×3ライセンス）

(2) 研究発表件数・・・口頭発表 100件程度（3会場） ※ポスター発表なし

①会場発表－オンライン配信 2会場、65件程度

②オンライン発表－会場配信 1会場 35件程度

(3) 自由集会件数・・・10件程度（①会場のみ、②会場-オンライン配信）

(4) 企業展示件数・・・5件程度（ほか賛助会員の企業・団体の案内、求人資料配布）

(5) エクスカーション・・・20名

(6) 公開シンポジウム

①会場参加定員 100名

②オンライン参加 300名程度（zoom ウェビナー）

(7) 総会 会場参加定員 100名程度（会場のみ）

3.研究発表申込み

6月下旬ごろ，大会HP，学会HP，ニュースレターでご案内します。

- 例年のように，発表申込みフォームに必要事項を記入のうえ，発表要旨 A4 1 枚）を提出ください。先着順とします。
- 口頭発表のみ，100 件程度の募集になります。ポスター発表はありません。
- 発表は，①会場での発表をオンライン配信します（2 会場、65 件程度）。また，②来場しない発表-オンライン発表を会場に配信します（1 会場、35 件程度）。
- どちらも会場とオンラインでの質疑応答が可能です。
- 発表申込み時に、「①、②、どちらも可」の希望を選択ください。
- 発表申込み開始：6 月下旬（できるだけ早くご案内できるよう準備を進めています）
- 発表申込み期限：7 月下旬（入力フォームに必要事項記入のうえ，発表要旨を提出ください）

※対面およびオンライン発表件数に上限があるため，申し込みにより受付が完了したことにはなりませんのでご注意ください。7 月下旬を予定している受付完了の連絡を以て発表受付完了となります。なお，発表件数が受付可能人数を超える場合には，大会実行委員会で受付制限や調整させていただきますので，ご了承ください。

4.自由集会申込み

6月下旬ごろ，大会HP，学会HP，ニュースレターでご案内します。

- 例年のように，自由集会申込みフォームに必要事項を記入のうえ，申込みください。10 件程度の申込み受付となります。先着順とします。
- 自由集会は，①会場開催のみ（オンライン配信なし）か，②会場開催-オンライン配信となります。どちらも可能です。この開催形式の選択について件数の制限はありません。
- ただし，②会場開催をオンライン配信する通信作業は，自由集会企画者が行ってください（実行委員がサポートします）。このため，企画者（責任者）は，必ず会場にお越しください。なお，会場来場者が参加できないオンラインのみの開催はできません。
- 発表申込み開始：6 月下旬（できるだけ早くご案内できるよう準備を進めています）
- 発表申込み期限：7 月下旬（指定メールアドレスまで，企画内容を提出ください）

5.企業展示申込み

6月下旬ごろ，大会HP，学会HP，ニュースレターでご案内します。

- 二種類の方法があります。
 - ①技術・機材等の展示
例年のように，会場において，賛助会員（無料）の企業・団体の技術情報、機材等の展示を募集します。例年の参加企業数をふまえ，5社程度と想定した会場を用意しています。また，本ホームページ上でも，企業・団体のURL，資料PDFを紹介します。
*賛助会員：無料、非会員企業・団体：有料（3万円）
 - ②企業・団体の案内，採用関連資料の配布
賛助会員の企業・団体の案内（パンフレット）や採用関連の資料を設置するコーナーを設けます（無料、申込みが必要です）
- 発表申込み開始：6月下旬（できるだけ早くご案内できるよう準備を進めています）

6.参加申込み

6月下旬ごろ，大会HP，学会HP，ニュースレターでご案内します。

- 8月上旬申込み開始予定（定員になり次第締め切り）
- 会場参加は，発表会場の席数の1/2程度を定員とします。このため，会場には，計200名程度の参加となります。
- 会場定員に限りがありますので，会場参加定員になり次第締め切ります。
- 100名程度の会場参加者（公聴のみ）を募集します。なお，対面口頭発表者，自由集会企画者および学会関係者等で100名程度を想定しています。
- オンライン参加は最大600名を想定しており，オンライン参加の申込みは9月中旬まで受け付けます。
- 参加費（会員・賛助会員）：会場参加，オンライン参加ともに6,000円（要旨集別※）
- 参加費（学生）：会場参加，オンライン参加ともに3,000円（要旨集別※）
- 建設コンサルタンツ協会 CPD 受講証明書発行（予定）

※要旨集はPDFにて大会ホームページで公開します。冊子版を必要な方には販売します。

7. エクスカーション

エクスカーションは、次のとおり企画しています。

応用生態工学会2021 札幌大会エクスカーション **豊平川さんぽ（案）**

【開催趣旨】

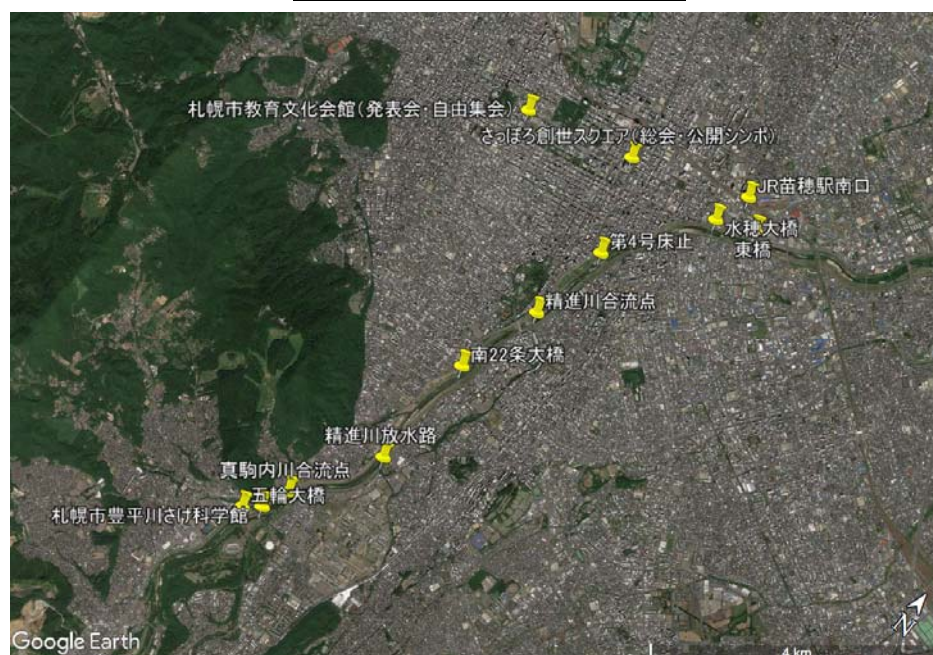
人口 197 万人を擁する札幌市の中心部には、全国でも有数の急流河川である豊平川が南北に縦断している。豊平川はサイクリング、ジョギングや魚釣りなど札幌市民に憩いの場となっている。川の中に目をむけると豊平川で生まれたサケの自然産卵が行われるなど稀有な環境を有する。一方で都市河川が有する様々な課題を抱えており、研究機関、行政をはじめ市民団体などの各主体が課題解決のために日々腐心している環境でもある。本エクスカーションは、全国の応用生態工学関係者に豊平川の現状や取り組み内容を共有してもらおうとともに、コロナ禍におけるエクスカーション開催の意義を感じてもらえるきっかけとなることを願い開催するものである。

- ・ 開催日時：2021 年 9 月 25 日（土） 9:30～16:00
- ・ 開催場所：札幌市内 豊平川中下流区間（JR苗穂駅集合，札幌市豊平川さけ科学館解散）
- ・ 移動手段：徒歩（移動距離約 10km；午前 2.7km、午後 7.1km）
- ・ 昼食場所：豊平川の河川敷（河原）
- ・ 募集人数：20 名（申し込み先着順）
- ・ 参加費：2000円（うち1000円は弁当代）

※降雨の場合、室内プログラム（札幌市豊平川さけ科学館見学）に変更予定。開催4日前の段階で荒天が予想される場合は中止。

- ・ 8月上旬申込み開始予定（定員になり次第締め切り）

エクスカーション視察ポイント



8.公開シンポジウム

公開シンポジウムは、次のとおり企画しています。

応用生態工学会2021札幌大会 公開シンポジウム
自然の「恵み」と「災い」という矛盾の解決
～気候変動下におけるグリーンインフラの役割～

日時：2021年9月21日 13時～

場所：札幌市民交流会プラザ・クリエイティブスタジオ（札幌市中央区北1条西1丁目）

会場定員：100名 *ZOOMを使い、オンライン配信します。

受付は8月上旬ごろ開始し、大会HP、学会HP、ニュースレターでご案内します。

【シンポジウムの概要】

環境変動は自然生態系とその恵みを駆動する重要な要素である一方、極端な変動は人間生活にとって災害という形で負の影響を与える。気候変動が顕在化する今、後者に対してどのように適応するかは喫緊の社会的な課題である。生態系の持つ機能を活用することを目指す“グリーンインフラ”は1つの解決策として注目され、概念的な枠組みの進展とともにその具体例が徐々に各地で蓄積されつつあるが一般社会への十分な情報発信は不足している。また、流域治水の思想や方針とグリーンインフラ、生態系・生物多様性の保全が両立するためにキーとなる観点の十分な整理も必要である。

本シンポジウムでは、気候変動下の治水・利水、土地管理方策、生態系保全に精通する専門家を国内外から招聘し、関連する事例、思想、そして技術を共有する。そして、各発表内容に基づき、パネルディスカッションを通じてテーマへの解決策を探り、我が国の土地利用や河川特性に合致した未来像の具現化を推進したい。

【プログラム】

#趣旨説明（北海道大学 根岸淳二郎）

- 1 オランダにおける気候変動を考慮した水災害対策（仮）（未定）
 - 2 気候変動下での洪水リスク評価（仮）（北海道大学 山田朋人）
 - 3 気候変動下での我が国の水災害対策にとってグリーンインフラは効く薬か、苦い薬か、プラセボか？（公益財団法人 河川財団 河川総合研究所 藤田光一）
 - 4 グリーンインフラがもたらす恵み（仮）（国立環境研究所 西廣淳）
 - 5 グリーンインフラ計画における空間配置の重要性（北海道立総合研究機構 石山信雄）
- #パネルディスカッション（コーディネーター：北海道大学 中村太士）

9.会場案内

北海道札幌市 中央区



① 令和3年9月21日（火）＜総会、公開シンポジウム＞

【会 場】 さっぽろ創世スクエア 札幌市民交流プラザ 3階(クリエイティブスタジオ)
(<https://www.sapporo-community-plaza.jp/>)

【所 在 地】 札幌市中央区北1条西1丁目

【アクセス】 「さっぽろ創世スクエア 札幌市民交流プラザ」には地下に駐車場がありますが、有料となります。来場にあたっては下記の交通機関もご利用ください。

- [JR]札幌駅南口より徒歩約10分
- [地下鉄南北線・東西線・東豊線]大通駅^{*1}より徒歩約5分
※1 地下通路・地下空間を30番出口に向かい、西2丁目地下歩道を通して直通。
- [市電]西4丁目駅より徒歩約12分
- [ジェイ・アール北海道バス]時計台前停留所^{*2}より徒歩約2分
※2 JR札幌駅のバスターミナルにおいて、「55系統」又は「57系統」等のバスに乗車。



[図引用]：「札幌市民交流プラザ」HPのイベントスケジュール機関紙「PLAS（プラス）」のアクセスマップ

② 令和3年9月22日（水）～24日（金）＜研究発表会、自由集会＞

【開催場所】 札幌市教育文化会館 3階・4階（研修室・講堂・ギャラリー）
(<https://www.kyobun.org/>)

【所在地】 札幌市中央区北1条西13丁目

【アクセス】 一般来場者用の駐車場はないため、下記の通り、交通機関にて来場ください。

▶ [地下鉄東西線]西11丁目駅※1（1番出口）より徒歩約5分

※1 JR札幌駅近くの[地下鉄南北線]さっぽろ駅より乗車し、大通駅にて[地下鉄東西線]に乗り換える。

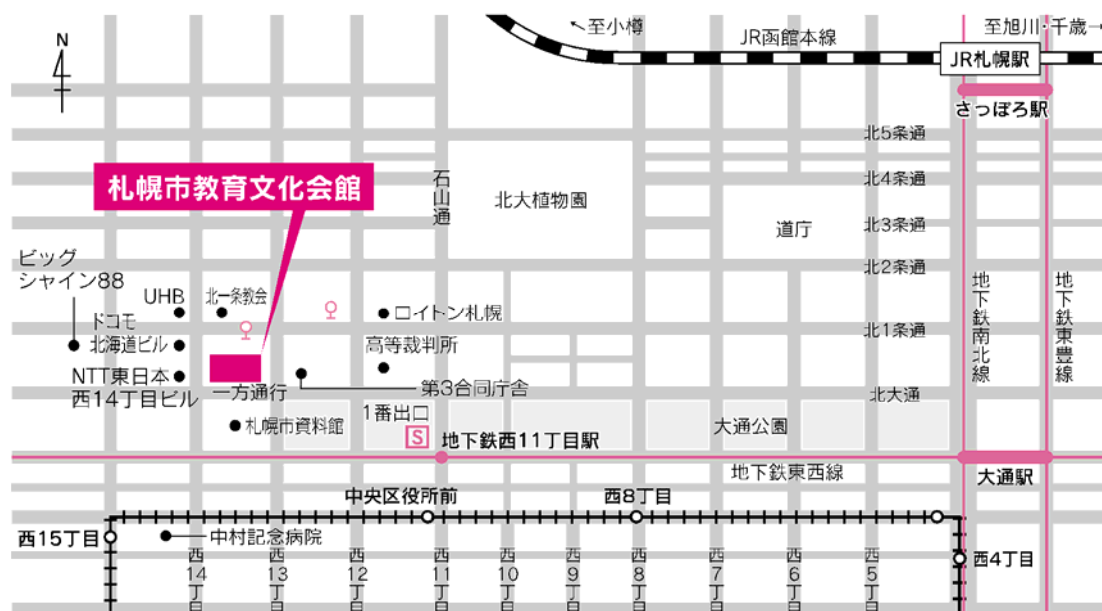
▶ [市電]西15丁目駅より徒歩約10分

▶ [ジェイ・アール北海道バス]北1条西12丁目停留所※2より徒歩約1分

※2 JR札幌駅のバスターミナルにおいて、"55系統"又は"57系統"等のバスに乗車。

[中央バス]北1条西12丁目停留所※3より徒歩約1分

※3 JR札幌駅のバスターミナルにおいて、"札幌～小樽：円山経由"線等のバスに乗車。



【図引用】：「札幌市教育文化会館」HPのご利用のしおりのアクセスマップ

■大会会場周辺の宿泊施設等

大会実行委員会では、宿泊施設の斡旋・紹介は一切いたしません。安全に大会に参加いただくため、以下のように、新型コロナウイルスに対し十分な対策を実施している宿泊先のご利用をお勧めいたします。

【宿泊参照】 Good・Day北海道 新型コロナウイルス感染症対策施設紹介サイト
[公益社団法人 北海道観光振興機構HP]

(<https://safe-travel.visit-hokkaido.jp/>)